



発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877 (62) 1022 FAX 0877 (62) 1553
E-mail chusannokai@pref.kagawa.lg.jp URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/chusannokai/>

中讃管内の
新しい動き

香川県育成モロヘイヤ新品種「さぬきのヘイヤ」について



穴あきマルチ直播き栽培展示ほ（丸亀市）

モロヘイヤは、粘りのある食感と、栄養豊富なことが特徴の、夏場の葉物野菜です。香川県では昭和の終わり頃から栽培が始まり、現在の栽培面積は約2haで、中讃管内では、丸亀市を中心に、約15名の生産者が栽培しています。

香川県農業試験場が育成し、国内初の品種登録を目指している、新品種「さぬきのヘイヤ」は、①茎の赤色の色素「アントシアニン」の発生が極めて少なく、鮮やかな緑色であること。②茎や葉が柔らかく、食感が良いこと。③えぐみや青臭さが少なく、食べやすいこと。など従来のモロヘイヤとは大きく異なる特性を持っています。

中讃管内では、今年度5戸の農家で試験的に栽培されており、普及センターでは、国の事業を活用して、栽培様式の展示ほの設置や、品種特性の詳細な分析、市場関係者からの評価の聞き取りなどを行い、生産と流通の両面から産地の拡大を支援しています。（2面参照）



左：さぬきのヘイヤ 右：従来品種

「さぬきのHEYA」を学校給食へ



「さぬきのHEYA」研修会

7月23日、生産者、県農政課、県農業試験場、普及センターからの講話や情報提供による、「さぬきのHEYA」についての研修会を、丸亀市、善通寺市、仲多度郡の栄養教諭を対象に開催しました。

「さぬきのHEYA」を食べた子供たちの反応や、モロHEYAなどの食材の情報に熱心に質問が寄せられるとともに、活発な意見交換が行われました。



ほ場で生産者からの話を聞く



キャベツとモロHEYAのおひたし

7月19日、丸亀市の学校給食に、地元産の「さぬきのHEYA」が和え物として提供されました。(写真提供：丸亀市飯山学校給食センター)

野菜ソムリエを対象とした「さぬきのHEYA」研修会



研修会プレゼンテーションの様子



研修会意見交換

7月25日、「さぬきのHEYA」の特性を、外部の方々に評価してもらうために、日本野菜ソムリエ協会の協力を得て、野菜ソムリエ10名に従来品種との試食比較と、意見交換を行う研修会を開催しました。

参加者からは、従来品種との違いに驚きの声があがり、「食感が滑らかで良い」、「生での食べ方を提案するべき」などの意見や積極的な提案を聞き取ることができました。

得られた意見やアイデアをもとに、新たな食べ方や使い方を提案し、産地振興につなげたいと思います。

中讃地域の農業を支える女性の活躍

「平成31年農業構造動態調査」によると、全国の基幹的農業従事者140.4万人のうち女性は56.2万人と4割を占めており、農業の重要な担い手となっています。

中讃管内におきましても、家族経営協定を結び主体的に経営に参画したり、農業経営の一部門として農産物の加工や販売活動等の起業への取組み、さらには新規就農や農業委員、農業士など、農業の様々な場面で多くの女性達が活躍しています。

普及センターでは、研修・講習会や交流会の開催のほか、先進事例の紹介や情報提供等を通じてこうした意欲ある女性の活動を支援しています。

家族経営協定の締結農家と認定農業者

家族経営協定を締結している農家は115戸、そのうち28人が共同申請により女性が認定農業者となって農業経営の向上に取り組んでいます。



町長、普及センター所長の立合いで調印式(綾川町 井脇さん)

生活研究グループ員による食育・地産地消活動等

28グループ、386人の会員が、各地域で特産食品の加工・販売や親子料理教室の開催などを行っています。



女性起業のメンバーを交えて「食品ロスについて」研修

女性新規就農者等〈アグリレディ〉のグループ活動

平成30年4月に30～50歳代の女性達が中讃農業女子ネットワーク「ぼやっとガールズ」を結成し、情報交換のためのミーティングを中心に、各種セミナーへの参加や研修会の開催、産直活動などを行っています。



和歌山から講師を招いてランチタイム研修



地元スーパーの産直コーナーに出展



かがわ農業フェアに出展

6次産業化による起業活動

地域の農産物の加工・販売により、45の女性起業が経営の拡大、発展に取り組んでいます。



加工食品の販売交流(多度津さくら工房)

農業委員、農業士として活躍

平成31年度経営発展セミナー



中讃農業士会の研修
〈農業士 三原典子会長(当時)〉

知事の認定を受け、地域農業の振興や新規就農者の指導・助言等を行っている女性農業士(6人)や、各市町で農地と担い手の問題に取り組む女性農業委員(10人)が、地域のリーダーとして活躍しています。

軽減税率導入に向けて ～中讃地域集落営農法人協議会経営管理研修会を開催～



中讃地域集落営農法人協議会(会員66法人)主催で9月9日(月)、アイレックス小ホール(丸亀市)にて「経営管理講習会」を開催しました。当日は、集落営農組織から47名が出席して、田中和幸税理士を講師に迎え、「消費税改正&軽減税率制度について」の講演が行われました。加えて、普及センターからは、新規設立法人の紹介やトビロウカ等水稻の防除に関する情報提供を行いました。

農業経営改善セミナーを開催

9月3日(火)、アイレックス(丸亀市)において、農業者等56名出席のもと、「農業経営改善セミナー」を開催しました。

坂出市の(有)木下農園取締役 木下睦雄氏による「私の農業経営～現代日本で成功する農業のモデルケースに～」及び山地良典税理士事務所長(丸亀市)による「円滑な事業承継をするために～こうすればうまく行く！経営のバトンタッチ～」の講演を行いました。



中国四国地域の検討会で、管内の農業後継者、青年農業士が活躍

令和元年度中国四国地域農業士研究会が11月12日、13日に琴平町で開催され、157名の農業士が「就農支援活動を通じた地域農業の活性化」をテーマに研究討議を行いました。管内では坂出市の青年農業士、木下睦雄氏の事例発表と坂出市と善通寺市のJA集荷施設を見学し、今後の活動強化としました。



JA坂出みかん共撰場を見学



プロジェクト課題発表での表彰(優秀賞:竹内一之氏)

第52回中国四国地域若い農業者のつどいが11月7日、8日に高松市で開催されました。110名の農業後継者が参加し、プロジェクト課題発表では香川県代表として、丸亀市の竹内一之氏が「日本で一番幸せな農業法人となる！」と題して発表しました。

また、現地研修では善通寺市の(株)尾野農園のスマート農業について視察を行いました。